

負担金検証調書【令和7年度交付分】

1 負担金の予算決算等について

負担金の名称	愛知県社会福祉協議会保育部会負担金			市の担当部課	子ども健康部子ども未来課		問い合わせ先	0568－44－0324
負担金の金額	予算額	103,000 円	当初交付額	124,300 円	決算額	124,300 円	前年度決算額	111,600 円

2 負担金の交付先について

交付先の状況	名称	愛知県社会福祉協議会			(法人格の有無)	有	代表者	後藤 澄江		所在	名古屋市	
	構成団体	公私社会福祉施設、団体										
	設置の根拠	社会福祉法人愛知県社会福祉協議会定款										
	意思決定の方法	特別の利害関係を有する評議員を除く評議員の過半数が出席し、その過半数をもって行い、可否同数のときは議長の決するところによる。										
事務局の体制等	所在	名古屋市東区白壁一丁目50番地					代表者	会長 後藤 澄江				
	事業資金の管理責任者		専務理事 木村 吉誠				事業資金の管理者	部会長 北村 信人				
	契約、支出 決裁の方法	(事務局が市である場合) 市のルールに準じているか？			完全準拠でない 場合の内容等							
		(事務局が市でない場合) 具体的に記述		事務局の事務処理基準による。							証拠書類 の有無	有
	事業資金等の保管方法		金融機関に預け入れ、通帳を金庫にて保管									

3 負担金の対象となる事業等について

事業内容 (事業の全体像)	委員会、常務委員会、保育士会セミナー、機関紙の発行(すかんぽ)、保育所初任職員セミナー、東海北陸保育研究大会、次世代保育リーダー養成セミナー
(犬山市の役割)	犬山市保育士会会長が委員会に参加している。 研修会、セミナー、機関誌の発行
事業実績 (具体的な手法)	保育士会セミナー、機関紙の発行(すかんぽ)、保育所初任職員セミナー、東海北陸保育研究大会、次世代保育リーダー養成セミナーの実施
負担金を交付して 市が得たメリット	新人職員セミナー、研究大会、研修会などに参加することができる。

4 負担金の交付先における収支等について

犬山市負担金額(当初支出額)	124,300 円	精算の有無	無	精算(返還)額	0 円	精算後の負担金の額	124,300 円
負担金の対象となる全体事業費(精算がある場合は精算前の額)	収入額	14,519,873 円	支出額	14,519,873 円	余剰額	0 円	
構成員の負担割合(根拠)	1園11,300円 11園分を負担している。						
余剰額が発生した場合の取扱い	次年度に繰越					繰越額	0 円
交付先における収入の状況(精算前の額)	会費13,492,200円、助成金835,800円、前期繰越金191,873円						
交付先における 支出の状況	項目	予算(当初支出時の想定)		決算(実績)			
		積算等	金額	積算等	金額	契約の方法、相手方等	
	県社協会費	県社協会費	1,626,000 円	県社協会費	1,611,900 円	1,350×1,194施設	
	事業費支出	諸謝金・旅費交通費・消耗品費・印刷製本費・通信運搬費・会議費・参加費・業務委託費・賃借料・資料・図書費支出・雑支出	3,643,000 円	諸謝金・旅費交通費・消耗品費・印刷製本費・通信運搬費・会議費・参加費・業務委託費・賃借料・資料・図書費支出・雑支出	2,480,758 円		
	委員会事業費支出	委員会事業費支出	602,000 円	委員会事業費支出	597,000 円	社会福祉施設委員会費 500×1,194施設	
	負担金支出	全社協負担金支出(全国保育協議会)	8,478,000 円	全社協負担金支出(全国保育協議会)	8,408,000 円	全国保育協議会費 7,000×1,194施設 愛知県保育研究集会助成金 50,000円	
	助成金支出	助成金支出	100,000 円	助成金支出	100,000 円		
	次期繰越収支差額	次期繰越収支差額	192,000 円	次期繰越収支差額	1,322,215 円		
	合計		14,641,000 円		14,519,873 円		
	積算がない場合の特記事項						

5 負担金の検証について

検証年度	令和7年度実施	検証内容	研修会やセミナーに参加したり、保育に関する機関紙を閲読したりすることで、保育情報を知り得たり、保育士の資質向上が図られているため、継続していく。
------	---------	------	--